

2017 年度第 3 回高機能微粒子研究センター講演会

高機能微粒子研究センターが2014年度に発足してから今年度で4年目に入りました。これまでナノリスクを回避する安全なデバイス製造工程の技術開発のために、液相ナノ微粒子プロセスの研究を中心に行ってきましたが、ここで微粒子が関わる環境問題まで研究対象を広げ、昨年度から環境化学工学のテーマをさらに加えることになりました。そこで、今回は、昨年まで京都大学国際高等教育院で教授をされていて、現在英国にて人工衛星を利用した環境研究を行っておられるJohn Mathews博士が当研究センターを訪問される機会を利用して、東日本震災時の津波により流出した瓦礫の分散と漂流に及ぼす風および海洋汚染（表面活性）物質の影響等について講演をしていただく予定にしています。

学生の皆様も含めて海洋環境問題等に興味のある方々は是非ともご参加ください。

記

講演題目：“THE GAREKI’S TALE”

—THE EARLY MORPHOLOGY OF FLOATING MARINE DEBRIS DEPOSITED BY THE
2011 TOHOKU TSUNAMI NEAR FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER STATION—

講師：John Mathews博士（京都大学国際高等教育院 元教授）

日時：2017年10月17日（火） 15:00-17:00

場所：同志社大学京田辺校地 夢告館MK101

講演会参加費：無料